

平成 20 年 10 月 27 日

各 位

東京都港区虎ノ門 2 丁目 1 0 番 1 号

新日鉱グループ

 日鉱金属株式会社

電材加工事業本部加工事業部

平成 2 0 年下期の金属加工製品の生産予定について

品 目	単 位	平成 2 0 年下期 生 産 予 定	平成 2 0 年上期 生産実績見込	平成 1 9 年下期 生 産 実 績
伸 銅 品	t / 期 (t / 月)	1 9 , 2 6 0 (3 , 2 1 0)	1 9 , 2 6 0 (3 , 2 1 0)	2 1 , 2 0 4 (3 , 5 3 4)
特 殊 鋼 製 品	t / 期 (t / 月)	1 , 2 6 0 (2 1 0)	9 6 0 (1 6 0)	8 7 6 (1 4 6)
合 計	t / 期 (t / 月)	2 0 , 5 2 0 (3 , 4 2 0)	2 0 , 2 2 0 (3 , 3 7 0)	2 2 , 0 8 0 (3 , 6 8 0)
(参 考) 製品長さ計	万 m / 期 (万 m / 月)	3 , 1 2 0 (5 2 0)	3 , 3 0 6 (5 5 1)	3 , 6 1 2 (6 0 2)

【解説】世界の景気動向が極めて不透明な状況の下、当社伸銅品が主に使用される携帯電話、液晶テレビ等のデジタル機器関連の需要については、先行き非常に厳しい環境になることが予測されます。

また、銅をはじめとする非鉄金属価格は急激に下落しており、顧客各社においては、発注は最低必要分のみ／在庫は極力抑える、という傾向がより一層高まっております。厳しいマーケット情勢ではありますが、当社は、独自に開発した高機能銅合金（コルソン系合金、ギガロイ、ハイパーりん青銅）から汎用品（黄銅錫メッキ品）までの幅広い製品群と、国内外に有するコイルセンターからの少量・短納期デリバリ機能により、顧客要求にジャスト・フィットした形で材料を提供して参ります。

特殊鋼製品については、国内主力の倉見工場、中国現地法人の日鉱金属（蘇州）による 2 つの圧延品製造拠点、また関係会社の日鉱富士電子（株）におけるメッキ・プレスを含めたグループ総合力を活用し、ステンレス材の拡販を進めてまいります。

金属加工製品全体では、前期並みの 2 0 , 5 2 0 t / 期の生産を計画しております。

以 上

お問い合わせ先： 日鉱金属株式会社
総務部総務担当 河田
TEL：03-5573-7223